

情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波利用環境委員会(第 23 回)  
議事要旨(案)

1 日時

平成 27 年 8 月 24 日(月) 14 時 00 分～ 16 時 20 分

2 場所

金融庁(中央合同庁舎第 7 号館) 12 階 共用 2 特別会議室

3 出席者(敬称略)

(1) 専門委員

多氣昌生(主査)、雨宮不二雄、石山和志、清水敏久、曾根秀昭、田島公博、田中謙治、塚原仁、長谷山美紀、林亮司、堀和行、増田悦子、山崎健一、山下洋治、和氣加奈子

(2) 関係者

井上正弘、尾崎覚、小田明、上芳夫、実井仁、篠塚隆、徳田正満、平伴喜光、前川恭範、松本泰、吉岡康哉

(3) 事務局

杉野勲(電波環境課長)、澤邊正彦(電波利用環境専門官)、川口晃(電波監視官)、野村惇哉(電磁障害係長)、小栗朋之(電磁障害係員)、小黒康明(電磁障害係員)

4 議事

(1) 前回議事要旨について

前回の議事要旨について、さらに修正意見があれば 8 月 31 日(月)までに事務局あてに連絡することとして承認された。

(2) CISPR ストレージ会議対処方針(案)について

資料 23-2 から資料 23-5 に基づき委員及び関係者から説明がなされ、以下の審議が行われた。また、資料 23-3 に基づき多氣主査からストレージ会議及び各小委員会への参加者(案)が提案され、若干の修正が加えられた後、承認された。

ア. 資料 23-2 の p8 の副議長選任手続きについて

各小委員会の副議長の選任手続きは制度化にとどまっているのか、それとも、候補者の指名状況が報告される状況まで進んでいるのか。

⇒CISPR I はゲリー・ペティ氏が副議長として指名されており、他の候補者がいないといった状況である。しかし、小委員会ごとに進捗状況は異なるため、どの段階に進んでいるのかについては一律ではいえない。

イ. 資料 23-4 の p6 の 9 kHz-150 kHz の伝導妨害波の測定法及び許容値について  
の下記の質問に対し、各作業班の主任の意見を聞き、適宜対応することとなった。

SC77A から許容値の策定を求められているのは事実か。これに対し我が国はどのような考えか。

⇒各作業班はいずれも、SC77A の検討結果を待ってから検討すべきでありストレーザ会議では議論するものではないと考えている。

ウ. 資料 23-4 の p12 の環境区分について

・ CISPR/1314/DC 文書にて意見募集中であるが、これに関してストレーザ会議での CISPR S で扱うかどうかについて議題に上がらなかった。CISPR H で扱う事項であるのか。また、本文書に対する意見の集約はストレーザ会議に間に合うか。

⇒運営委員会の電話会議で何回か議論されているが、未だ結論としてまとまっていない。環境区分について、CISPR H のゴリーニ議長を中心とした CISPR S の TF で検討を行い、方向性が見えたら、各国 NC に対する意見照会文書を発行することとしている。

環境区分について 3 つの区分にするのは構わないが、許容値を 3 つに区分するのは反対という国が多く、議論が紛糾したため、本文書に対する意見の集約はストレーザ会議には間に合わない。

エ. 以上の結果、審議内容を反映した上で委員会報告書として確定し、9月8日開催予定の情報通信技術分科会に諮ることとされた。

(3) 電波利用環境委員会報告(案)「電気照明及び類似機器の無線妨害波特性の許容値及び測定法」に対する意見募集の結果について

資料 23-6 に基づき事務局から説明をしたところ特段の意見はなかった。

そのため、委員会報告として確定し、9月8日開催予定の情報通信技術分科会に諮ることとされた。

(4) 電波利用環境委員会報告(案)「マルチメディア機器の電磁両立性 — エミッション要求事項」について

資料 23-7 及び資料 23-8 に基づき、CISPR I 作業班の雨宮主任から説明があり、以下の審議が行われた。その結果、所要の修正を加えた上で、パブリックコメントを実施することとされた。

ア. 資料 23-7 の p5 の 3. 付則 D 測定配置 AAN と EUT 間のケーブルを束ねる要求及び資料 23-7 の p6 の 3. 表 A1 CISPR 16-1-4 の項番追加についてエディトリアルな修正をすることとなった。

イ. 資料 23-7 の p6 の 1. 放射エミッション測定設備としての FAR について

・ FAR の使用について留意事項を追加した旨は、答申(案)のどの部分にどのよ

うに記載したのか。

⇒FAR の留意事項は資料 23-8 の p23 にある表 A.1 に記載している。FAR については未だ議論中であるが、CISPR32 の FDIS で追加されたため、留意事項を追加することとした。

## 5 今後の予定

事務局から次回委員会について、予定されている議事とともに、開催日時及び会場は別途連絡する旨の通知があった。また、議事 1 及び議事 2 において確定した報告書の内容を、9 月 8 日（火）開催の情報通信技術分科会で諮ることが周知された。

### 【配付資料】

- 資料 23-1 電波利用環境委員会（第 22 回）議事要旨（案）
- 資料 23-2 CISPR ストレージ会議 総会及び各小委員会対処方針（案）
- 資料 23-3 CISPR ストレージ会議 参加者リスト（案）
- 資料 23-4 電波利用環境委員会報告（案）「CISPR ストレージ会議 総会及び各小委員会対処方針」概要
- 資料 23-5 電波利用環境委員会報告（案）「CISPR ストレージ会議 総会及び各小委員会対処方針（案）」
- 資料 23-6 電波利用環境委員会報告（案）「電気照明及び類似機器の無線妨害波特性の許容値及び測定法」に対する意見募集（平成 27 年 7 月 10 日報道発表）に対して提出された意見と電波利用環境委員会の考え方（案）
- 資料 23-7 電波利用環境委員会報告（案）「マルチメディア機器の電磁両立性 – エミッション要求事項」概要
- 資料 23-8 電波利用環境委員会報告（案）「マルチメディア機器の電磁両立性 – エミッション要求事項」